

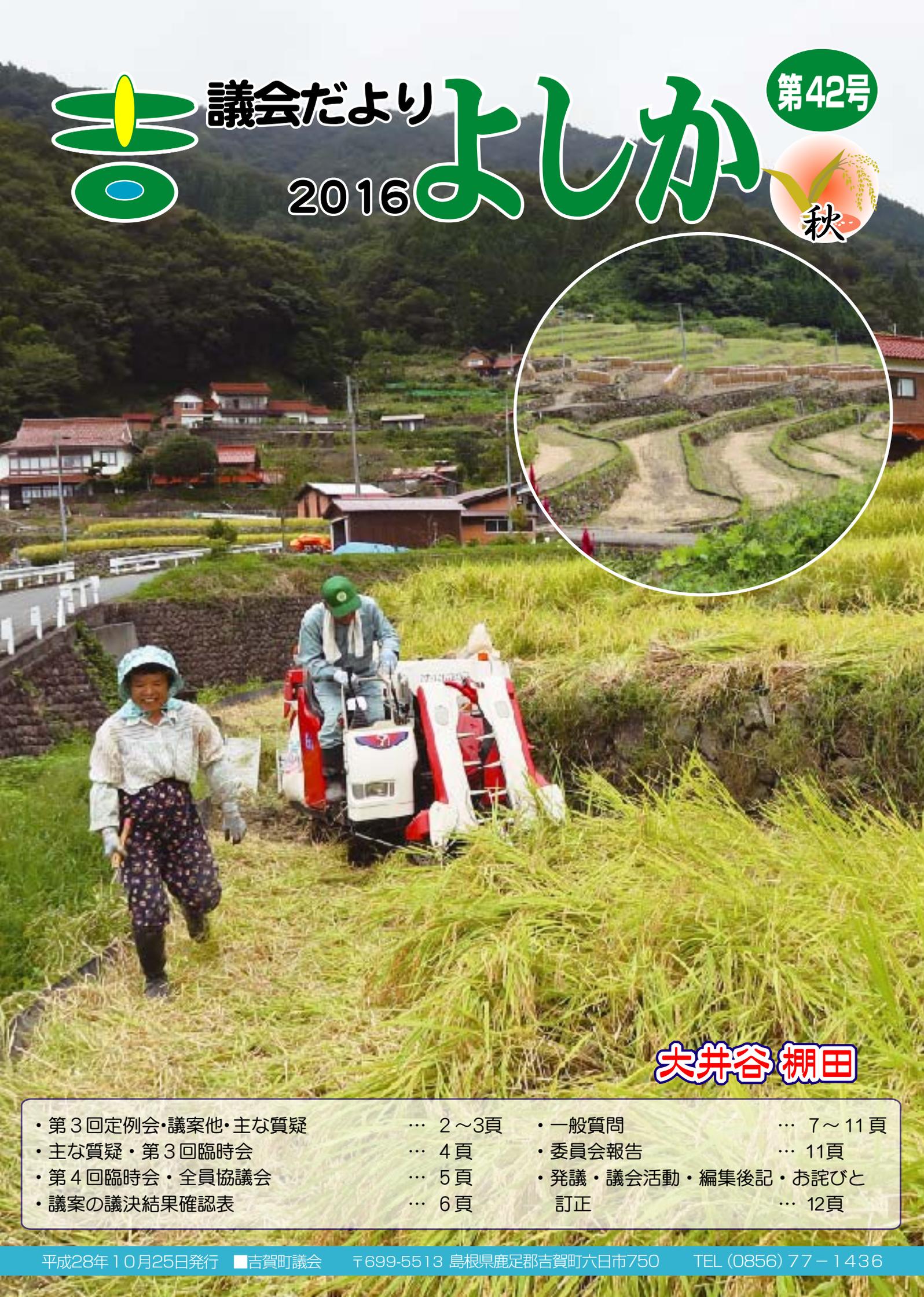
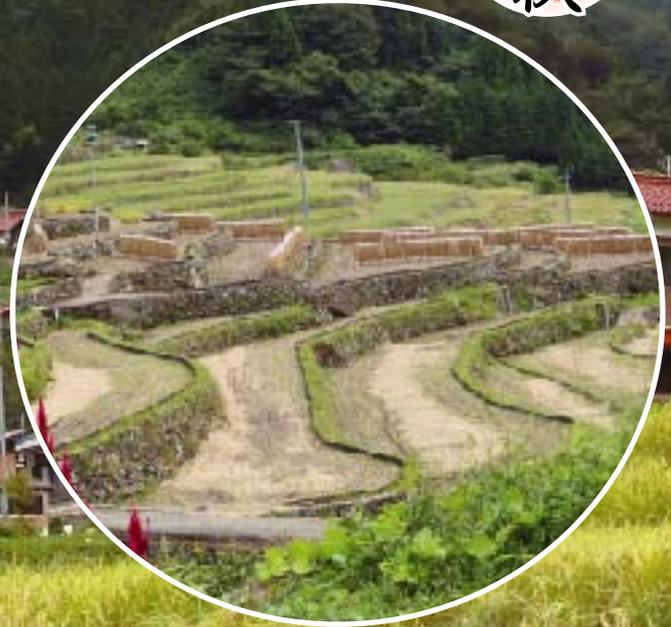


議会だより

2016

よしか

第42号



大井谷 棚田

・第3回定例会・議案他・主な質疑	… 2～3頁	・一般質問	… 7～11頁
・主な質疑・第3回臨時会	… 4頁	・委員会報告	… 11頁
・第4回臨時会・全員協議会	… 5頁	・発議・議会活動・編集後記・お詫びと	
・議案の議決結果確認表	… 6頁	訂正	… 12頁

平成28年度 第3回定例会

平成28年度第3回定例会が9月9日から10月7日までの29日間開催され、議案11件、認定案件9件、報告2件、発議2件を審議しました。

平成27年度一般会計歳入歳出決算、外8特別会計の認定については決算審査特別委員会に付託し、委員会の報告通り認定することを本会議にて承認されました。

議案

- ・動産購入契約の締結について 外10件

認定案件

- ・平成27年度吉賀町一般会計歳入歳出決算認定について 外8特別会計

報告案件

- 1) 報告第4号 健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 2) 報告第5号 議会委任による専決処分の報告について

発議案件

- 1) 介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続利用と、利用料負担増としないことを求める意見書（案）
- 2) 参議院選挙における合区の解消を求める意見書（案）

主な質疑

吉賀町移住体験滞在施設条例の制定について

【移住を希望する者に町内での暮らし体験を行うための生活の拠点を提供するため滞在施設を設置する条例】

藤升議員

- ◆ 通常の町営住宅の場合、退去する際は畳

の表替え等させていたが、この住宅についてはいかがですか。

【企画課長】

短期滞在施設ということを前提で通常1年、長くても2年ということで、特に義務化はしていませんが、通常の使用において破損等については移住者に修繕してもらうようにしています。

河村(由)議員

- ◆ 移住者の希望でもう少しこの町に住みたいが、次なる住宅が見つからない場合等の対策はありますか。

【企画課長】

空き家、公営住宅等のいろいろな手段があると思いますが、空き家バンク等の紹介や支援も行っています。

大多和議員

- ◆ 今回、条例を制定したとしても、将来また教員住宅が必要となった場合は新規に建設しなければならないと思われませんが、考えを聞きます。

【教育次長】

現在教員住宅で足りている状況にあります。町外からの教員全てが教員住宅を利用している訳ではないので、現時点で新築、増築の考えはありません。

平成 28 年度吉賀町一般会計補正予算

【民間賃貸住宅建設補助金について】

庭田議員

- ◆ 建設補助金 700 万円について、詳細を聞きます。

【企画課長】

民間事業者がアパート等の賃貸住宅を建てるときに、最大 1 戸当たり 70 万円を補助

するものです。

条件として最大 10 戸を対象とし、半分以上を U I ターン専用の賃貸住宅とすることを制度化するものです。

【大井谷棚田災害復旧費について】

中田議員

- ◆ 棚田の保全是、地元だけでやっていけるのか、イノシシ等による、畦畔への被害は予算措置されますか。

【産業課長】

高齢化、担い手不足により、活動の継続が難しくなることは予測されますが、地域住民、町外の方からも関心は多く寄せられていますので保全活動はやっていく必要があります。

【橋梁維持管理費について】

河村(隆)議員

- ◆ 橋梁の修繕工事につき、町内で把握している緊急箇所について今後の予定を聞きます。

【総務課長】

緊急の修理は 4 箇所判定を受けており、通行止めや歩行者のみ等の制限をしています。それ以外の橋につきましては、費用対効果等見ながら修繕方法を検討しています。



大井谷展望台の災害状況

動産購入契約の締結

【小型動力ポンプ消防車の購入】 (蔵木第5分団)

桑原議員

- ◆ 消防車の耐用年数は5年ですが、5年で償却するわけにはいかないと思いますが、これらの更新の目安について聞きます。

【総務課長】

おおむね20年を経過した車両について更新するという計画で、順次更新をしています。

三浦議員

- ◆ 車両の購入について通常は地元業者が応札しますが、消防車も応札できませんか。

【総務課長】

車両の購入だけであれば可能と思われるのですが、車両を購入した上で消防車に改造が必要となり、専門業者でなければできないということで消防車両に精通した4者を指名したところです。

吉賀町新宮住宅施設条例の制定について

【六日市分遣所職員住宅を町営住宅にするための条例制定】

桜下議員

- ◆ 応募者多数の場合は町営住宅と同じように抽選となると思われますが、誤解がありますので募集の仕組み等、詳細を聞きます。

【税務住民課長】

公営住宅の募集につきましては、お知らせ版で毎月空きが出たときにお知らせし、次月の第1週の金曜日を締切にします。応募者多数の場合は、後日役場でくじ引きを行い決定しています。



購入する車両の同型車

平成28年度 第3回臨時会

【平成28年7月7日】

【議案第58号】

請負契約の締結

- ①契約の目的 平成28年度六日市中学校改修工事
- ②契約の方法 一般競争入札による文書契約
- ③契約金額 1億2,398万4千円(税込)
- ④契約の相手方 益田市高津7丁目16-23 宮田建設工業(株)益田支店

【議案第59号】

平成28年度吉賀町一般会計補正予算
(第2号)

補正予算の概要

- ・歳入歳出予算にそれぞれ6,283万7千円を追加して総額が69億3,807万1千円とする。

・追加予算の内訳

「彫刻の道」整備事業費として5,671万8千円。

・その他は、非常勤嘱託職員等の人件費、旅費等

庭田議員

- ◆ 彫刻の道整備事業は、10年計画で整備されると説明を受けているが、ランドデザインはできていますか。又総事業計画費はいくら位を予定していますか。

【町長】

宇部市常盤公園での「宇部ビエンナーレ」は、隔年で開催されています。これに吉賀町賞を設けており、吉賀町賞の作品を設置したいが、財政状況を見ながら、余裕のある間に整備したいが、財政状況によっては、しばらくは事業中止もあり得ます。

平成28年度 第4回臨時会

【平成28年8月10日】

【議案第60号】

請負契約の締結

- ①契約の目的 平成28年度サクラマス交流センター建築工事
- ②契約の方法 一般競争入札による文書契約
- ③契約金額 2億5,488万円（税込）
- ④契約の相手方 吉賀町七日市986-1
松原工務店・宗正建設・
斎藤建設特別共同企業体

河村(隆)議員

- ◆ 建設資材を町外からの調達では、意味がありません。

発注する公共工事について、県内産と町内産の資材等を、公告の中に明記したらいかがですか。

【町長】

町内業者の見積もりは、予定の倍近い価格で出されることもあります。

町内産にこだわりたいが、予算面を考慮すれば、できない部分もあります。町内の業者にも努力はして頂く必要があります。

【議案第61号】

請負契約の締結

- ①契約の目的 野外彫刻制作委託
- ②契約の方法 随意契約による文書契約
- ③契約金額 5,400万円（税込）
- ④契約の相手方 東京都渋谷区富ヶ谷1-51-2
(株)ケー・エス・アート
代表取締役 澄川 喜一

※彫刻のコンセプト

柿木村・七日市村・朝倉村・六日市町・蔵木村の旧5カ町村が合併し、吉賀町として、一つとなり、未来へ向けて大きく羽ばたくさまを表現する。

素材は、南アフリカ産のベルファースト（黒御影石）を使用



制作中の作品と澄川氏

全員協議会

第7回 平成28年7月7日

- 「総合戦略の評価」
- 「彫刻の道整備」
- 「民間事業者の住宅建設に対する助成金制度」

第8回 平成28年8月10日

- 「国民健康保険税過徴収」
- 「町道重則親迫線に係る土地所有権確認等請求事件の経過」
- 「サクラマス交流センター(仮称)の建築工事」

第9回 平成28年8月19日

- 「エコビレッジかきのきむら構想の検証」
- 「新産業創出」

第10回 平成28年9月9日

- 「鹿足郡不燃物処理組合の懲戒処分事案」
- 「蔵木・六日市中学校統合計画の経過」

第11回 平成28年9月29日

- 「エポックかきのきむらの経営状況」
- 「平成27年度第三セクター等経営状況」

第12回 平成28年10月7日

- 「臨時福祉給付金の誤支給」

議案の議決結果

『議決結果確認表』

(議長は可否同数の場合を除き採決に加わらない)

【第3回定例会 欠席議員を除く全議員が賛成し可決した議案】

○:賛成 ●:反対 欠:欠席

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第63号	動産購入契約の締結 ※大多和議員欠席 (蔵木第5分団消防車)	議案第69号	吉賀町スクールバス条例の一部改正
議案第64号	吉賀町地域再生法に係る固定資産税の 不均一課税に関する条例の制定	議案第70号	平成28年度吉賀町国民健康保険事業特 別会計補正予算(第2号)
議案第65号	吉賀町新宮住宅施設条例の制定	議案第71号	平成28年度吉賀町介護保険事業特別会 計補正予算(第2号)
議案第66号	吉賀町移住体験滞在施設条例の制定	議案第72号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算 (第4号)
議案第67号	吉賀町税条例一部改正	議案第73号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算 (第5号)
議案第68号	吉賀町監査委員に関する条例の一部改正		
認定第2号) 認定第9号	平成27年度吉賀町各特別会計歳入歳出決算認定 ・小水力発電事業・国民健康保険事業・後期高齢者医療保険事業・介護保険事業・簡易水道 事業・下水道事業・農業集落排水事業・興学資金基金		

【第3回定例会 賛成少数で否決した議案】

議案番号	件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮	安永 (議長)
発議第4号	介護保険制度における軽度者への福 祉用具貸与及び住宅改修の継続利用 と、利用料負担増としないことを求 める意見書(案)	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	/

【第3回定例会 賛成多数で可決した議案】

議案番号	件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮	安永 (議長)
発議第5号	参議院選挙における合区の解消を 求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	/
認定第1号	平成27年度吉賀町一般会計歳入歳出 決算認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	/

【第3回臨時会 欠席議員を除く全議員が賛成し可決した議案】

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第58号	請負契約の締結(六日市中学校改修工事) ※河村(由)議員欠席	議案第59号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算 (第2号) ※河村(由)議員欠席

【第4回臨時会 全議員が賛成し可決した議案】

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第60号	請負契約の締結 (サクラマス交流センター建築工事)	議案第62号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第3号)

【第4回臨時会 賛成多数で可決した議案】

議案番号	件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮	安永 (議長)
議案第61号	請負契約の締結(野外彫刻制作)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/

※一般質問の内容は、本人の原稿をもとにしています。

中学校の統合計画案の撤回について



桜下 善博

【問】 8月30日の教育委員会定例会で、六日市、蔵木両中学校の統合計画案の撤回を全会一致でされましたが、真意を聞きます。

〈教育長〉 六日市、蔵木両中学校を統合するという基本方針は維持しつつ、蔵木中学校を六日市中学校へ統合する・時期は平成29年4月とする2点を、撤回することを決定しました。今後は検討委員会を設置し、統合場所、時期等については検討委員会の審議に委ねます。

【問】 教育委員会は保護者からの、早期の統合を望むという声を受けて、統合の基本方針を決定したと理解していましたが、撤回の理由を聞きます。

〈教育長〉 8月に統合の計画案の説明会を、町内4カ所で開催しました。統合場所、時期を決定し、その後検討委員会を立ち上げて、スクールバス、制服、部活動等、細部にわたっては検討委員

会で行うという提案を説明会でしてきました。

賛同の意見も多くありましたが、検討委員会を先に設置出来ないのか、統合場所を蔵木中学校に出来ないかなど住民の意見をもっと聞いて欲しいなどの意見が出ました。

そうした中、8月19日、蔵木小・中学校・未就学児の保護者の総意として、統合は延びても事前協議をしっかりと欲しいという内容の要望書が、提出されました。

保護者から要望書が出た以上、計画案は見直さざるを得なくなり撤回しました。

【問】 人口の推移を見ると、今は2校の統合問題だが、他の3校の統合も避けて通れない時期が来ます。今後の中学校の統合について、考えを聞きます。

〈教育長〉 基本的には、当分の間は存続できるよう頑張る思いです。

学校統合。白紙からのスタートを!!



庭田 英明

【問】 平成29年4月に蔵木中学校を六日市中学校に統合するという案が、住民の方達の不安を払拭できずに撤回されました。しかし統合という基本姿勢は残されたままです。

教育委員が第1にする仕事は学校を残すことを前提として子どもたちの学力や体力を向上させる教育を提供できるか熟議するのが本来の姿ではないのでしょうか。

複数の学校で授業や部活を合同で行い地域に学校を残す努力をしている教育委員会は全国に多数有るのです。

「吉賀町活力ある学校づくり検討委員会」の答申を尊重し統合案の全てを白紙に戻してゼロから議論すべきと考えます。

〈教育長〉 統合は極めて小さな学校のデメリットを解消する唯一の手段です。白紙に戻すなどという考えはいささかも持っていません。粛々と着実に統合に向かって進めていきます。

【問】 統合に一番不安を持っているのは子どもたちです。アンケートではどのような結果がでましたか。

〈教育長〉 蔵木中は10名中7名が統合に反対です。六日市中は38名中36%の生徒が反対という結果が出ています。

【問】 子どもたちの健康のために町は給食に町内産の有機米を100%、野菜は67%提供しています。安全性を証明する栽培履歴の提出を求めていますか。

〈教育長〉 生産者を信頼して購入しているので提出は求めていません。

【問】 有機米は一般米より6割高く購入しています。税金を使いながら安全性の説明責任も果たせないことでいいのですか。

〈教育長〉 栽培履歴というような書き物より農家の心を信じています。

熊対策と防災マップについて



中田 元

【問】 今年は熊の目撃情報が頻繁にあり通学路や、民家の近くにも及んで人命にかかわる重大な事態です。

県のクマ対策保護管理計画で、ツキノワグマは森林生態系の重要な構成種であり、生物多様性の保全の観点から存続させる必要性があり、平成6年より狩猟が禁止さ

れました。

今年度鳥獣専門員を1名配置していますが、どのような対策を行なっているのですか。

捕獲したらどのように処分したか情報提供も必要と考えますがいかがですか。

密集地に度々出没すれば、県に殺処分の要請を強く行って頂きたいと思いますが。

〈町長〉 鳥獣専門員は熊、猪、鹿、ヌートリア等の対応に当たっています。

熊の行動は決まったパターンがないとの事でGPS付電波発信機を熊に装着し、行動範囲を解明する準備をしています。目撃情報が寄せられたら防災

無線で注意喚起、通学路は学校へ直接通報し対応をしています。

捕獲後の処分は、有害捕獲は殺処分にし、錯誤捕獲は原則山奥へ放獣しています。

【問】 以前六日市庁舎の対岸に児童公園の設置を提案したが検討されましたか。

〈町長〉 町内の中心地にある土地なので、備中屋跡地も含め、検討します。

【問】 平成28年3月に防災マップを各戸に配布されましたが眠っているのではないかと恐れ、活用方法と呼びかけしたらと考えます。また、マップにある自主防災組織は現在何地区あり、補助金はいくらあるのですか。

〈町長〉 啓発・喚起をする必要があると考えております。自主防災組織の拡充など防災訓練等消防団からも提案を頂いております。

補助金は基本額1～2年目それぞれ30万円と世帯数×500円です。

総合戦略の事業は早めの対応によって見直しが可能



河村由美子

【問】 全国に高齢化が進む中、島根県は32.6%です。この影響は経済から伝統文化に及んでいます。総合戦略にある定住効果の上がる事業に集中し、生産年齢人口増とUターンの促進策等は31年までの5年間としています。前倒しして事業を実施する事で課題や問題点を検証し、翌年度に反映で

き効果が上がるのではないのでしょうか。

〈町長〉 総合戦略につきましては当初予算で7億1800万円の事業予算として実施中です。27年度で実施した事業について推進委員会で総合戦略の評価を行い議会へ説明した通りです。

今後見直しするもの、来年度に向け事業化を目指すもの等検討を行っています。指摘のように年次計画にこだわる事なく一刻も早く事業着手をし、成果を上げる努力をしたいと考えています。

【問】 事業実績向上には数値目標を持ち、人口増加には町内の独身者には婚活を推進し、Uター

ン者には手厚い支援を講じる事が先決と思いますが。

〈町長〉 人口を維持するために必要なのが人口置換指数と云う事ですが、一番確実なのはUターン者と思っています。

他方では一歩進んだ婚活も精力的に近隣町村と連携し取組んで参ります。

【問】 町内の商工業は事業の継承が厳しい状況にあります。公共事業や物品購入等、現行の入札制度の見直しを求めます。

十分な所得と就労の場を維持する事が産業振興に繋がり、活力ある町づくりとなります。

価格競争の過熱を防止し、全ての入札において妥当な制限価格を設けるよう求めます。

〈町長〉 妥当な最低制限価格は難しく、入札制度を適切に活用する中で良い物をより安く調達するようにしています。

防災対策には森林整備（環境整備）が必要



桑原 三平

【問】 8月30日上陸した台風10号が東北、北海道地方にもたらした甚大な被害の一因に流木の多さがあります。上流の山林崩壊に因るものだと思います。森林整備の必要性和災害との関連、対策について聞きます。

〈町長〉 全国的に山林の崩壊による被害が見られます。異常気象が大きく影響し、森林環境の変化も一因と言われています。

適正な、森林整備、特に間伐が行われないと、森林が持つ保水機能が十分に発揮せず、洪水や土砂災害へとつながると考えられます。

災害を出さないためにも森林整備は必要だと考えていますし、林業従事者の育成・確保の事業実施や学校と連携した森林学習などの取り組みを行っています。

森林整備の重要性について森林所有者へ周知啓発することが必要であると思います。小学生、中学生の方にも学習を兼ねて機会をふやしながらか山への関心を持たせ、従事者の増加につながるよう

ソフト的なこともしっかりやる必要があると考えています。

【問】 町内を流れる高津川上流区域には、町の総面積の20%に当たる6751haの国有林があります。その内の数か所において、近畿中国森林管理局と民国連携の協定を結んでいます。

協定の項目に安全・安心への取り組みの項目があります。国有林野と治山治水についての協議はしていますか。

〈町長〉 国有林内での災害は国の責務の下で行っていただきますが、現時点、島根森林管理署との関係は希薄になっており協議は行っていませんが、今後は必要だと考えています。

【問】 隣接する市町と防災対策や森林整備等について協議していますか。

〈町長〉 連携して行う事業については個々の事情があり、協議しても合意することが難しいが、条件があれば連携したいと思います。

地元優先の取り組みは



三浦 浩明

【問】 わが国では、公共事業をはじめ様々な分野で、地産地消が叫ばれ、その効果も根付いていると思われま。

本町でも地元優先の取り組みが行政・町民にも周知されているところです。ただ、地元優先の意図にそぐわない事例も多々あるようです。

特に、公共事業や公用車・備品等の購入契約に関しては、地元業者に行き渡らない厳しい現状があるようです。

地元業者で対応できないものは、やむを得ないとしても可能なものに対しては、地元優先にする等の条例を制定し、入札制から順番制にする等、平等に利益が行き渡るような対策が今以上に必要と思われま。

現在の取り組み状況と今後の対策等を聞きます。

〈町長〉 公共事業の入札については、法律に縛られますが、地元優先と云うことは当然のこと、一般競争入札も地元限定というような形

をとっています。

公用車の購入・備品等の購入契約またはリース契約は町内業者を優先しており、新規購入に関しては入札で対応し、リース契約と車検整備に関しては、見積りで随意契約の対応とし、低価格の業者へお願いしています。

現状の入札制を順番制とすることは、法律に触れるようなこともあります。

内容にもよりますが、順番制にしてうまく回っていけばよいのですが、業者の中から異議が出された場合など公平性を保たなければなりません。

経済団体・商工会も実態を把握し、問題点を行政に提起していただければ、どのような方法がとれるのか検討する必要があると思いま。





大多和安一

Uターン者に手厚い援助を

【問】 Iターン者に対しては、支援が手厚いのに対して、Uターン者には、冷淡な対応と思います。都会に出て、就職し、子育てを終えて、定年を迎える頃に、故郷へ愛着を持ち、老親の介護のため帰りたい人達は、多くいます。しかも、年金の外に、僅かな収入があれば、暮らしていけると考える人が大勢います。Uターン者の少額出資や耕作放棄地等の遊休不動産の出資等による第三セクターを作り、Uターン者がお互いで管理する事により、僅かな小遣いでも稼げるような会社を立ち上げ里山の整備や、昔からの町産品・貴重な山野草の保護や育成販売等による町の活性化を目指す地方創生事業を検討されたいかがですか。

〈町長〉 昨年度策定した総合戦略においては、それぞれの事業指標を設定し、その到達度合いにより評価しています。人口減少を克服するために、集中と選択により5カ年での事業を取りまとめ、5年後の成果を期待しています。

Iターン者に手厚い援助をしているように見受けられがちですが、基本的には、Uターン者とIターン者で、大きな乖離があるとは認識していません。

第三セクターの話ですが、以前にもそのような提案がありましたが、資金・人材の確保で難しい部分がありました。民間のやる気を助長しながら、お手伝いする。色んな情報を提供し、これまでに行っている事業に付加価値をつけ、関連した新規事業を支援していきたいと考えています。

【問】 Iターン者に係る現状確認とUターン希望者のアンケート調査をしたらいかがですか。

〈町長〉 Iターンに係る経費について、当然知っておく必要があると思います。作成された資料には、沢山の事があり、全てには回答できませんが、町内での起業に関して可能性の調査をしています。この調査結果いかんでは、雇用の場も作れる可能性もあります。



河村 隆行

除雪計画と、町内移動について

【問】 毎年除雪会議をおこない、問題点を改善しながら、今日の除雪方法が、確立されたと思いますが、地域集落も10年前とは大きく変わってきました。

昨年度の検証を行い、自治会などとよく協議され、今年度の計画を立てられたらいかがですか。

【問】 町内での移動手段として生活バスと、タクシーを利用されてはいかがですか。スポーツ施設や、温泉、買い物など、町内での移動が増えますと経済的効果もあると思います。

町内限定で、一回300円。医療費などの削減にも繋がると思います。

元気で長生きできる、健康長寿の町を目指されてはいかがですか。

〈町長〉 以前は、タクシー券を出していましたが、財政の厳しい時に廃止しました。今後いろいろなことを絡めながら検討したいと思います。



〈町長〉 27年度の委託業者は11社で3870万円支出しました。除雪作業に対する苦情、要望はいろいろ聞いています。

基本的には、自治会長を通じて、連絡していただけたらと思います。



災害で発生した瓦れき等の仮置き場を事前指定へ



藤升 正夫

【問】 いつ起きるかわからない災害に対して、被災した家財や瓦れき、流木などの仮置き場を事前に指定することによって、住民の皆さんも早い段階から復旧に向けた対応ができると考えます。

災害で発生した瓦れき等を仮置きする場所を事前に指定することを求めます。

〈町長〉 災害の被害状況を想定しながら、倒壊家屋、倒木、瓦れきの仮置き場を設定し復旧につなげていくため、候補地を設定していく必要があるため、早急に対処していく考えです。

【問】 旧柿木中学校運動場は、「きん祭みん祭産業文化祭」など駐車場として利用され、木の駅プロジェクトで木材の仮置き場としても使っていますが、水を含むとぬかるんで、普通の靴では歩けないほどの状況になります。ここへ碎石等を入れて、足元を整備し使いやすくすることを求めます。

〈町長〉 旧運動場の浅いところに水道管を斜めに埋設しており、車等の乗り入れで漏水したのではないかとということで、一部を使用していません。水道管を移設して、排水を検討していきたいと思っています

【問】 吉賀町では、全国学力テスト並びに島根県学力テストを実施していますが、効果よりも弊害が多いと考えます。テストにかかる時間を、児童生徒の関心を高め、社会の一員として成長を後押しする時間とすることが大事と考えますが。

〈教育長〉 学力テストの結果は、児童生徒個人個人の学力向上対策のための大切なデータです。

今後も豊かな学力をつけるためにも、児童生徒の学びへの関心を高めて、社会の一員としての成長を後押しすることにつながるように、教育委員会と学校が連携して取り組んでいきたいと思っています。

委員会報告

【決算審査特別委員会】

・平成27年度吉賀町各会計歳入歳出決算審査について平成28年9月20日から9月29日にかけて審査しました。

(審査意見)

- ◆ 窓口業務においては、ワンストップサービスなど住民の利便性向上のための努力がされている。六日市地域振興室の充実をはじめとして、組織機構の見直しや、事務処理の工夫の検討が望まれる。
- ◆ 町税・使用料等徴収については、努力が成果として現れているものもあり、評価できる。
- ◆ 各公共施設の維持管理には、年間多額の費用が支出されているが、歳入面での使用料は、歳出に比較して少額であるので、検討していく必要がある。

- ◆ 職員の労働環境に関しては、有給休暇等が取得しにくい環境と推察される。職員の健康管理面からも、改善が望まれる。

反対討論

藤升 議員

- ◆ 平成27年度吉賀町一般会計歳入歳出決算認定について、一つは、居住環境改善事業で、建物の解体をした事業の中で節間流用という形で、予算書にも載らず行われていたり、不用額も生じていた、またもう一つは、吉賀町の施設に他団体の清涼飲料水の自動販売機が設置されており、本来のルールから逸脱した形での契約が、されたと認識しています。この様な状態を、続けるということは、財産管理上においても、予算の執行という点からも認めるわけにはいきません。反対の討論とします。

本会議採決 賛成多数 可決

発 議

【発議第4号】

- ・介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続利用と、利用料負担増としないことを求める意見書（案）

○発議者 藤升正夫議員
 総務常任委員会に付託・審査 否決
 本会議採決 否決

【発議第5号】

- ・参議院選挙における合区の解消を求める意見書（案）

○発議者 桑原三平議員
 本会議採決 可決
 ・閉会中の継続調査申出書
 総務常任委員会 福祉全般について
 ・閉会中の継続調査申出書
 経済常任委員会 産業全般について

議会活動から

【8月25日総合戦略の任意勉強会開催】

町地域力創造アドバイザー、千田良仁氏を招き本庁舎2階会議室において、まち・ひと・しごと創生吉賀町総合戦略の勉強会を開催しました。先立ち、千田先生より他市町村の取組事例について、調査検討するよう宿題がだされていました。



【9月27日野外彫刻制作の現地視察】

名誉町民である澄川喜一氏の作品の制作過程を視察しました。

場所は山口県周南市黒髪島にある石材会社の砕石現場内加工場です。

当日は、澄川氏、町長、企画課長、職員、全議員、事務局長他にグラントワの職員が参加しました。

澄川氏と石材会社の担当者から制作過程の説明を受けました。



編 集 後 記

朝夕、めっきり涼しくなり、そろそろ炬燵の準備を考えているご家庭もあると思います。

爽やかな秋風ですが、永田町の周辺に吹く風は、違う感じの様です。

今定例会は、普段の定例会より会期を長く設定しました。長会期にしたのは平成27年度一般会計と8特別会計の歳入歳出決算認定を会期中に行うためです。

従来、決算認定は閉会中の審査とし12月の定例会で委員会報告し審議、認定していました。

認定にあたり、意見を付していますが、その意見を業務執行や次年度の予算編成に、出来る限り早めに反映させるようにとの思いからです。

議会に対し、皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

（桑原三平）

【お詫びと訂正】

平成28年7月25日発行の「議会だより」第41号表紙の花の名前に誤りがありました。ユウスゲでなく、正しくは“ヤブカンゾウ”でした。お詫びして訂正いたします。